

知道 CHIDO-KAIHO 会報

86

編集 知道会広報委員会
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
発行人 鬼澤邦夫
発行日 平成27年5月1日
通巻 第86号
メール chidokai_mito@chidokai.jp

目次	鬼澤新会長からのごあいさつ	1
	校長からのメッセージ 小泉堯史監督に芸術選奨文部科学大臣賞	3
	一高だより 異動・進学状況ほか	4
	学年・地域等同窓会	6

ごあいさつ

知道会会長 鬼澤 邦夫



昨年11月の代議員会のご推挙により、第10代会長に就任いたしました。昭和38年卒の鬼澤邦夫です。力不足は承知しておりますが、お引き受けしましたからには全力を尽くす所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

改めてではありますが、本会の重要な目的は、会員相互の親交を深めるとともに、母校の発展に寄与することにあります。

この目的に関連した例を一つ紹介させていただきます。

私は銀行員という職業柄、ビジネスで成功された経営者にお会いすることがあります。その際、成功の要因をお聞きしますと、大部分の方は理屈で説明できる部分よりは「運」と「勤」の部分の方が大であったと述懐されています。しかし、「運」と「勤」と言っても全くの運ませやヤマ勤ではなく、経験に裏打ちされた根拠のあるものであるのは勿論のことです。

そして、「運」の部分で最も大

きな要素は、人脈であることはほぼ共通しておりました。即ち、いろいろな場面で親しくしている友人、知人から支援やアドバイスがあり、これが成功の一因となっていたということです。

知道会是人脈の宝庫です。茨城県内はもとより、東京、大阪を含め会員は全国で活躍しております。会員相互の親交を深めることは、青春時代の思い出話などにより互いに元気や刺激を与え合うことのほかに、このようなビジネス面でも活かされるものと思っております。加えて、仕事と離れた文化や趣味などにつきましても輪の広がりを楽しみを倍加させてくれるものと思います。

また、母校の発展という点においては、文武両道と自由で伸び伸びした校風、そして自主独立の精神を側面から支援して行きたいと改めて強く感じている所でございます。

結びに、母校の益々のご発展、会員の皆さま、並びに学年・地域・職域などの同窓組織の一層のご活躍を祈念いたしましてご挨拶いたします。

会長プロフィール

鬼澤 邦夫 おにざわ くにお
(株式会社 常陽銀行 代表取締役会長)

1944年茨城県生まれ。1967年一橋大学商学部を卒業、株式会社常陽銀行入行。堀留支店長、総務部長、取締役人事部長、常務取締役、代表取締役副頭取、代表取締役頭取を経て、2011年から現職。

他に、常陽地域研究センター会長、茨城労働基準協会連合会会長、茨城県経営者協会会長、茨城産業会議議長、茨城県法人会連合会会長、茨城県公安委員会委員等を務める。

会員の集いに400人

平成26年11月22日(土)、水戸京成ホテルにおいて約400名の参加を得て「知道会会員の集い」が開催されました。

まず講演会に先立ち、昨年3月に実施された生徒海外派遣プログラムの報告が派遣生徒の代表8名により行われ、前回5月の代議員会の際に報告を聴けなかった会員多数が熱意溢れる報告に耳を傾けました。

続く講演会は昭58卒の主催により～58年卒女子 私たちのハンセイキ(反省記・半生記)～と題しての座談会。昭58卒の女性会員、山内(市川)直子氏、秋元(角田)裕子氏、大塚(田中)千裕氏、芳賀(小野瀬)厚子氏、向(蛭町)多美子氏の5名が同じく昭58卒で経済誌「プレジデント」編集者の面澤淳市氏による司会進行で、在学中のこと、進学のこと、社会に出てからの仕事や家庭との両立のことなどについて語り、知道会女性会員の活躍の一端を担う登壇者に会場からは大きな拍手が送られました。

懇親会は担当学年の加藤弘士氏(平5卒)が司会進行。鬼澤新会長(昭38卒)による挨拶の後、角田前会長(昭28卒)から退任の挨拶が



※次ページに続く

あり、前会長に花束と記念品が贈呈されました。贈呈後に新会長と前会



長は壇上で固い握手を交わして引き継ぎ、その後、小田部学校長（昭48卒）、橋本茨城県知事（昭39卒）の挨拶と続き、西野顧問（昭23卒）の発声により乾杯、賑やかな懇談となりました。

懇親会のイベントは平5卒の作曲家・サクソ奏者の石田寛和氏による演奏が行われ、ソプラノサクソによるオリジナル曲の名演奏を楽しみました。終盤には担当学年幹事の引継ぎとして恒例の軍配・法被の受け渡しが行われ、来年の集い幹事学

年（昭59・平6・平16卒）を代表して浅野茂生氏（昭59卒）が軍配を受け取って抱負を述べた後、最後に三好義隆氏・松葉茂博氏（平5卒）の指揮により校歌を斉唱し、集いは終了しました。

今回の集いでは新たな取り組みとして、育児中の女性会員にも安心して参加をいただけるよう託児サービスを導入し、専門業者を依頼して同ホテル内に専用の一室を設け、事前に申込みのあった会員のお子様をお預かりしました。また、パンフレッ

第64期第33回代議員会

第64期（平成26年10月～平成27年9月）第33回代議員会は、「知道会会員の集い」に先立ち平成26年11月22日（土）13：30から水戸京成ホテルにおいて開催されました。審議内容など概要は以下の通りです。

- (1)第63期の知道会各委員会活動及び事業、母校助成協力事業、学年・地域・職域知道会の活動状況について栗原幹事長から報告され了承されました。
- (2)第63期の収支決算について西山財務委員長から、監査結果について坂本監事からそれぞれ報告があり、承認されました。
- (3)第64期の事業計画案が栗原幹事長から説明され了承されました。
- (4)第64期の予算案について西山財務委員長から説明され承認されました。
- (5)役員改選について、栗原幹事長から指名委員会による審議結果が説明され、指名委員会から提示された原案の通り会長に鬼澤邦夫氏（昭38卒・新任）、監事に篠原勉氏（昭48卒・留任）、坂本和重氏（昭48卒・留任）とすることが承認されました。
- (6)第65期第35回代議員会を平成27年11月14日（土）、13：30から水戸京成ホテルで開催することとなりました。

会計報告

第63期 H25.10.1～H26.9.30
第64期 H26.10.1～H27.9.30

	項目	第63期決算額	第64期予算額
収入の部	年会費	9,192,000	9,500,000
	卒業生入会金	1,615,000	1,600,000
	寄附金収入	154,000	200,000
	会員の集い会費	1,701,000	1,700,000
	受取利息	3,580	20,000
	特別積立金取崩	1,500,000	2,000,000
	義援金会計から繰入	1,200,525	1,200,000
	雑収入	58,250	50,000
	前期繰越金	83,205	108,647
		収入合計	15,507,560
支出の部	運営費	(12,439,472)	(12,860,000)
	会員の集い費	1,973,784	2,000,000
	会議費	41,801	100,000
	事務局運営費	2,049,023	2,200,000
	通信費	3,123,325	3,100,000
	消耗品費	20,311	80,000
	旅費交通費	98,874	150,000
	渉外費	46,382	100,000
	支部強化費	390,000	450,000
	振替手数料	462,263	500,000
	印刷費	3,962,004	3,900,000
	リース料	271,705	280,000
	事業費	(497,642)	(675,000)
	総務委員会費	98,000	65,000
	財務委員会費	20,000	20,000
	広報委員会費	175,310	180,000
	名簿委員会費	10,000	10,000
	親睦委員会費	183,332	200,000
	女性会員活性化費	11,000	200,000
	母校助成費	(2,461,799)	(2,400,000)
	卒業記念品費	467,510	500,000
	大会補助金	543,764	450,000
	卒業生褒賞費	250,000	250,000
海外派遣助成費	1,200,525	1,200,000	
特別積立金繰入	0	0	
雑費	0	0	
予備費	0	443,647	
次期繰越金	108,647	0	
	支出合計	15,507,560	16,378,647

平成27年度会員の集い

多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成27年11月14日(出)
14：00～

場所：水戸京成ホテル

担当学年：昭和59年、平成6年、
平成16年卒の皆さん

59年卒の方々には多彩な人材の宝庫。その中から今回、講演にファッションやアートの分野でご活躍のジャーナリスト・林央子さんをお迎えします。

そのほか、平成6年、平成16年卒の皆さんもお楽しみ企画を準備中です。

どうぞ皆様には、先輩・同期・後輩の方々にお声かけをいただき、昨年の参加者400名を超える「知道会会員の集い」となりますようご協力をよろしくお願い致します。

【林央子さん】 1966年生まれ。資生堂の宣伝部を経て企業文化部で『花椿』編集に携わる。2001年フリーランスに。以後、さまざまなメディアにファッションやアート、本について執筆。個人出版でスタートした日英併記の雑誌『here and there』は、全巻がニューヨークの美術館MOMAに収蔵された。2011年出版の『拡張するファッション』は、2014年水戸芸術館で展覧会になるという拡がりをもった。一人息子の育児をしながら執筆活動が続けている。

トを作成して当日に配布、広告収入を若手会員の会費負担軽減に充てる方策も試験的に導入しました。広告掲載にご協力をいただきました各社・各団体様にこの場をお借りしまして厚く御礼を申し上げる次第です。

実行委員会では今後も新たな試みを導入して参りたいと考えております。ご意見ご要望などございましたらお寄せいただき、より多くの方々がご参加下さいますようお願い申し上げます。

小泉堯史監督が 文部科学大臣賞 (2014年度芸術選奨映画部門)

水戸市出身で映画監督の小泉堯史さんが2014年度芸術選奨映画部門で、文部科学大臣賞に輝いた。昨年公開の「蜩(ひぐらし)ノ記」が評価された。小泉さんは「スタッフ全員の仕事が認められた」と謙虚に話す。

1944年生まれ。70年に黒澤明監督に師事し、28年間助監督などを務めた。2000年に「雨あがる」で監督デビューした。

映画「蜩ノ記」は、不義密通の罪で10年後に切腹することを命じられた侍が主人公。彼と家族との関わり合いを内面深く描き、礼節と絆を問い掛けた。

「会いたいと思える人物をスクリーンの中に立ち上げてみたい。(黒澤明という)はるか遠くの明かりを目指して」と語った。(茨城新聞から抜粋)



離任のごあいさつ



前校長
小田部 幹夫

この度、2年間の職務を終え、離任いたしました。40年ぶりに母校に戻っての勤務でした。お陰をもちまして何とか職責を全うすることができ、現在充実感で一杯でございます。これまで、ご理解とご協力をいただきました鬼澤会長をはじめとする知道会会員の皆様に、心から御礼申し上げます。

本校では、今も毎月「定例生徒集会」を開催し、その中で生徒による「自由討論」を行っています。去る1月28日の「自由討論」の中で、2人の3年生が、全校生徒の前で、水戸一高のいい所を話していました。「生徒が積極的でいい」「周りの大人たちのお陰で思い出づくりができた」「部活動が充実していた」「一生の仲間ができた」という内容で、1・2年生へのメッセージでした。素晴らしい生徒に恵まれた2年間でした。

6月に開催しております「学苑祭」は、2年間とも2日間で約6千人の来場者がありました。10月の「歩く会」は「東海コース」(第65回)と「奥久慈コース」(第66回)でしたが、たいへん天候に恵まれました。昨年は、完歩率が99.26%と、史上最高の数字でした。また、知道会の皆様のご支援のお陰で、平成25年度から「生徒海外派遣プログラム」を実施することができました。1年生16名を3月にシンガポールに派遣し、グローバルリーダーを育成しています。

大学入試の改革等、高校教育激変の時代にあっても、本校は創立136年の伝統と「至誠一貫」「堅忍力行」の校是のもとで、「真理を愛する学問第一の校風」を維持していくものと考えております。今後とも、知道会の皆様のご支援とご協力をお願いし、離任の挨拶といたします。

新任のごあいさつ



校長
鈴木 一弘

この度、小田部幹夫校長の後任として着任いたしました。

私は、まもなく創立100周年を迎えようとする昭和52年に本校を卒業いたしました。在学当時、硬式野球部が活躍し、3年の春には関東大会出場、甲子園出場が期待された夏の大会では前年のベスト8に続いてベスト4に進出するなど、球場で勝利の校歌を数多く歌う機会に恵まれた学年でした。野球応援に「凶南」「抜山蓋世」の幟が登場したのもその頃のことと記憶しています。

平成11年から6年間本校に教諭として勤務した後、県教育庁で計6年間、他の県立高校3校で計4年間勤務し、10年ぶりに母校に着任いたしました。

この間、水戸一高では平成16年に策定された「中長期構想」に基づいて改革が進められ、進学重視型単位制の導入、土曜課外の実施、学苑祭の6月実施への移行、60分授業(1日6コマ)の導入等が実施されたほか、知道会のご支援をいただいて生徒海外派遣プログラムが開始されました。

歴代校長が主導されたこれらの改革の成果により、水戸城跡の学舎では、以前と変わらぬ自主自立の精神と進取の気風が満ちる中、生徒は生き生きと充実した学校生活を送っております。

微力ではありますが、その改革を更に前進させ、創立140周年に向けて新たな伝統を築いて参りたいと考えております。今後とも、知道会の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

EVENTS

平成26年

10月

4日 指名委員会
水戸知道会総会

11日、12日
水戸一高歩く会
(奥久慈コース)

17日 総務委員会平成26年度
「集い」第7回実行委員会

18日 昭42年卒同窓会

19日 にさし会

11月

1日 第1回知道会幹事会

15日 桜川市知道会

20日 税理士知道会

22日 知道会会員の集い・
代議員会

昭58、平5、平15年卒同窓会

23日 日立知道会

29日 瓜連知道会
医水会

30日 昭33年卒同窓会

12月

6日 西日本水中一高会

7日 みつば知道会忘年会

11日 委員長会議

平成27年

1月

2日 昭39年卒50周年記念同窓会

3日 昭43年卒同窓会

24日 昭36年卒同窓会

2月

7日 第2回幹事会・合同委員会

11日 みつば知道会新年会

20日 水戸一高課題研究発表会・
海外派遣プログラム報告会

21日 東京知道会同窓の集い

25日 総務委員会集い反省会・
引継会

3月

1日 水戸一高卒業式

4日 昭34年卒同窓会

14日 昭48年卒同窓会
五軒知道会

16日 広報委員会

4月

7日 水戸一高入学式

19日 みつば知道会総会

22日 総務委員会平成27年度
「集い」第1回実行委員会

25日 水戸一女子会講演会

平成27年度定期人事異動

次の方々が異動された。

1 退職 (教科および在職年数)

小田部 幹 夫	校 長	2年
出 頭 裕 実	事務室長	2年
金 子 昌 嗣	国 語	15年
大 山 雅 道	地 公	16年
齋 藤 千 秋	数 学	16年
川 上 仁 司	理 科	17年
根 本 滋	英 語	4年
橋 本 さと子	国 語	3年
大 島 知 子	英 語	2年
上久保 祐 子	家 庭	2年
萩 谷 薫	理 科	4年

2 転出

中 島 博 司	教 頭	3年
牛久高校 校長へ		
橋 正 宏	保 体	6年
東海高校 教頭へ		
井 坂 敏 行	数 学	10年
佐竹高校へ		
塚 田 貴 裕	英 語	4年
日立第二高校へ		
園 部 美 紀	事 務	7年
水戸第二高校へ		
佐々木 理 央	事 務	2年
笠松運動公園へ		

3 転入 (学校名は前任校)

鈴 木 一 弘	校 長	多賀高校
岡 部 浩 二	事務室長	水戸商高
梶 清 史	教 頭	日立一高
滝 田 裕 子	国 語	鉢田一高
田 中 亮	地 公	日立北高
飯 島 正 和	数 学	鹿島灘高
鎌 田 智 之	理 科	太田一高
稲 田 正 人	保 体	笠間高校
小 林 義 則	英 語	佐和高校
荒 山 奈緒美	英 語	鬼怒商高
市 村 晃 一	事 務	笠松運動公園
伊 藤 直 子	事 務	県立図書館
戒 能 彩	英 語	新規採用
勢 司 利 之	国 語	水戸二高
豊 崎 利 明	数 学	土浦一高
鴨志田 保 司	英 語	新 規

入試結果と進路状況

主な大学の合格者数を以下に記す。()内は現役合格者数。

○国立大学

北海道大	7(6)
東北大	37(29)
茨城大	24(20)
筑波大	33(25)
千葉大	15(10)
お茶の水女子大	5(3)
東京大	11(8)
東京工業大	6(4)
一橋大	4(3)
名古屋大	6(5)
京都大	4(1)
大阪大	6(3)

○私立大学

青山学院大	17(8)
慶應義塾大	28(14)
上智大	7(7)
中央大	51(28)
東京理科大	91(39)
法政大	46(19)
明治大	99(64)
立教大	39(31)
早稲田大	70(41)

○医学部医学科

国公立	21(8)
私立	15(2)
準大学	4(0)

(平成27年4月1日現在)

平成27年度入学状況

平成27年4月7日、茨城県立水戸第一高等学校においては満開の桜花に迎えられるなか、入学式が挙行され、男子184名、女子140名の計324名が本校での第1歩を踏み出しました。呼名に応じる新入生の張りつめた声には、見守る者たちに未来への希望を確信させる力強さがありました。

世界は今、グローバル化・グローバル化の進展の中で、これまでの様々な概念が揺らぎ、新たな混迷と軋轢の中で未来を模索しているかに

思えます。こうした中で、水戸一高において「至誠一貫」「堅忍力行」という校是のもとに脈々と受け継がれる「独立不羈」の精神は、むしろ時代の要請であると考えます。

新入生の1人1人に、136年の歴史と伝統を誇る水戸一高のもっとも若い力として、本校の新たな未来を創る活躍をされることを期待し、そして将来にわたり広く世界で活躍できる人材となることを願います。我々学年団も全力で関わりを続けます。知道会の皆様には、新しい後輩たちの成長を温かく見守り頂き、ご支援賜れますようお願い申し上げます。

(1学年主任 荷見教諭)

水戸市立博物館で 武石浩玻展

日本の民間パイロットの先駆けとして大正初期に活躍した武石浩玻(明35中卒)を紹介する展覧会が、2月14日から3月22日まで水戸市立博物館で開催されました。

浩玻は、明治17(1884)年に勝田村(現ひたちなか市)に生まれ、旧制水戸中学を卒業後に渡米。現地の飛行学校で技術を学び、大正2(1913)年に自らの飛行機とともに凱旋帰国して日本の空を飛び、一躍名をあげました。しかし、飛行会最終日の大阪-京都間の飛行において、着陸寸前に墜落、28歳の生涯を閉じました。

会場の市立博物館には、浩玻が乗った飛行機の模型や実際の操縦輪、車輪などが展示され、期間中3600人を超える多くの市民が訪れ、夢に向かって邁進した青年の情熱に触れていました。



トピックス

県民文化センターで発表会

平成27年2月20日

平成26年度 課題研究発表会

平成27年2月20日、茨城県立県民文化センター大ホールにて、課題研究発表会が行われた。この「課題研究」は、2学年の「総合の時間」における主な取り組みで、生徒たちが自ら課題を設定し、その課題に対し自らの意見を構築・表現しながら、自ら学び、考え、主体的に社会と関わる力を育成することを目的としている。その研究成果を全校で共有するとともに海外派遣プログラムでの成果も併せて発表した。

クラス代表の発表者とタイトルは以下の通り(組は2学年当時のクラス)。また、ホールではポスター発表も行われた。

組	タイトル	氏名
21	彼は本当に「不運の作曲家」だったのか	鈴木 峻平
22	メイラード反応における窒素原子の影響	富田季里呼
23	邪馬台国はどこにあったのか～日本史上最大の謎に迫る～	澤畑なな子
24	ALSに学ぶ生きがいというサブリメント	永山 敬士
25	水戸一高生における服装傾向～チェックシャツ～	大瀧真生子
26	ブラジルはなぜ強いのか～サッカー王国の謎に迫る～	市毛 雄大
27	小玉スイカにおける果実の成長様式	目時 珠穂
28	油凝固剤の固化メカニズムに関する研究	塙 大樹



生徒海外派遣 プログラム結果報告

昨年度に続いて、第2回生徒海外派遣プログラムを実施致しました。

今回は2年目ということで第1回海外派遣を継続的な形にする重要な回と位置づけられておりました。まずは派遣生徒が無事全ての行程を頑張り抜いたこと、そして人生を変えるようなインパクトのある経験を積めたとの感想が聞けたことにより、本プログラムは当初の目的を達成しつつあり、グローバル人材育成の趣旨にもつながったと引率者一同、本校職員そしてご父兄、また全ての関係された方々に対し感謝申し上げます。特に深いご理解とご支援をいただいた知道会の皆様には厚く御礼申し上げます。

茨城県立県民文化センター大ホールにて発表した内容と参加生徒の伊藤優香さん(2年)、小高真奈さん(2年)、佐々木まどかさん(2年)の報告を知道会ホームページ(<http://www.chidokai.jp/>)に掲載しております。ご覧いただければ幸いです。

(引率者 鈴木隆一 教諭)

昭和33年卒同窓会

5年毎の定例総会に当たる今総会は、平成26年11月30日に88名が元気に集まりました。場所は水戸駅前東屋旅館？ …あの当時登下校時にそれとなく目に入れていた懐かしいたたずまい… 正式名称は(株)東屋三の丸ホテル、ご存じ三の丸ホテルです。我々はその懐かしさから拘っていつも会場としているんです。駅前だから出席者の足腰にあまり負担を掛けさせたくないとの幹事連の思いやりでもありますね。

総会は、昭和33年卒業以来、今日までに鬼籍に入られた78名の方々に対する黙祷に始まり、お招きした水戸一高小田部幹夫校長、知道会栗原英則幹事長のお二人からご挨拶を頂いた後、恒例となった母校支援金を贈呈させて頂き、式次第に従い無事終了しました。

今回は、役員改選を行い、諸澤新一会長（8組）から藤村慎也新会長（2組）へとその任が引き継がれました。

引き続き懇親会に入り、平均寿命より健康寿命を意識してがんばっぺ〜と意気軒昂に乾杯、そして次回は2年後の喜寿を祈念して開催することを決定しました。会は飲むほどに、酔うほどに盛り上がり、平野光雄副会長（1組）の音頭による校歌斉唱、中締めで再会を期し閉会しました。

会場を出るとすっかり夜の帷に包まれた水戸の巷へ、クラス毎に二次会会場を求めて散っていきました。

（4組 大内紀典）

昭和39年3月卒業50周年記念同窓会「ありがとう会」を開催しました

私たちの同窓会は、昭和39年卒、サンキュウから「ありがとう会」と銘打ち、かれこれ30年が過ぎる。



毎年1月2日、会場は水戸京成ホテルでと固定している。故に突然でも参加出来るようにしている。

参加者は、毎年5名位ずつ減る傾向にあり、昨年60名台であったものが、今年は参加者が増え、100名に近づいた。そして、唯一、34組担任の中川健二先生には例年通りご出席頂き、また、小田部校長先生、古平知道会事務局長をお招きしたところ、快くご出席頂いた。

私たちは、20周年記念時から5年毎に記念誌を作成しており、今回で7冊目になる。併せて今回も同窓生の浄財を得て、知道会へ寄付をさせて頂くことにしている。

これからも、私たちの自慢である知道会年会費納入率1位を継続できるよう努力していきたい。

小野邦夫（昭39卒）

昭和43年卒同窓会

「昭和43年卒同窓会2015」は1月3日、水戸市・三の丸ホテルに恩師の高橋徳正、鶴巻勝夫両先生のご臨席を頂き、同窓生64人が出席して盛大に開かれました。「43会」は同窓生の還暦を機にそれまでの5年に1回から2年に1回の開催となっており、今回は2013年以來の集まり。これまでは毎回、事前の幹事会で決めたひとつのテーマに沿って行われてきましたが、今回はあえてテーマを設けずに「普通の宴会、を楽しみました。

まず、亡くなった同窓生、恩師に全員で黙祷。代表幹事の後藤克己君

（39組）があいさつし、在校生士気高揚資金として10万円を知道会の栗原幹事長に手渡しました。そして、高橋、鶴巻両先生がお元気に登壇されスピーチされました。

鶴巻先生の音頭で乾杯してパーティーに。同窓生たちはクラスごとに丸テーブルを囲んで酒を酌み交わし、旧交を温めていました。会場内には歓声が続くことなく響き、2時間半はあっという間に過ぎました。最後に元応援部員2人のエールに合わせて校歌を斉唱。2年後の再会を楽しみにしながら会場を後にしました。

（幹事 佐藤 猛）

東京知道会「同窓の集い」

2月21日、約300名の同窓生の参加のもと、東京知道会「同窓の集い」が大手町サンケイプラザで開催されました。

冒頭の助川裕会長（昭42卒）の挨拶では、当会の財務状況と組織の変遷を踏まえ、「男女共同参画型同窓会」の確立という今後の方向性が示されました。続く年次総会では、8年間幹事長を務めた谷田海孝男氏（昭46卒、現副会長）の後任として、三ツ石浩氏（昭55卒）が、また監事として、羽持良二氏（昭37卒）の後任として江幡秀則氏（昭47卒）がそれぞれ選出されました。

記念講演では、昭61卒の幹事学



年を代表して、長岡技術科学大学准教授の木村哲也氏が「レスキューロボット最前線」と題する講演を行いました。普段は接する機会が少ない分野であるにもかかわらず、映像を交えた最先端の話題は、非常に興味深いものでした。

第3部の懇親会は、「ビデオ・ジェネレーション」である幹事学年が制作した映像の上映や、地元茨城の利き酒コーナーなどで大いに盛り上がりました。最後に、杉田敦氏（昭61卒）から平林宏子氏（昭62卒）に代表幹事の「たすき」が引き継がれ、校歌斉唱と祝辞めで閉会となりました。

東京知道会事務局長
保坂賢司（昭55卒）



西日本水中一高会

昨年12月6日（土）大阪第1ホテル（マルビル）にて、西日本水中一高会総会懇親会が開催されました。小田部幹夫・水戸一高校長、鬼澤邦夫知道会会長にもご臨席頂き、出席者47名を得て始終和やかな雰囲気でした。

総会では、朝日西日本水中一高会会長挨拶、事業・会計報告に続き、会則改定案が承認されました。会則の主な改定点は、①現住所、勤務先によらず、会費を納める意思のある者を会員とする、②事業年を1月1日から12月31日までと変更する、ただし、会計年度は従来通り10月1日から翌年9月30日とする、③総会は原則12月の第1土曜日に開催する、などです。また、西日本水中一高会が本年10月1日で50周年を迎えることから、50周年記念事業を行うこと、9月26日に記念祝賀会を開催することが承認されました。

懇談会では、関西大学経済

学部の宇都宮浄人教授（S54年卒）より講演「交通まちづくりによる地方創生」をいただき、水戸市街の活性化にはLRT（次世代型路面電車）がピッタリであるという話題で盛り上がり、郷土を盛り上げたいという熱い思いを皆で共有しました。参加者47名のうち平成21年以降卒の若手9名には全員から挨拶をしてもらい、世代を越えた交流が活発に行われました。

続く2次会には、20余名の参加者を得て、夜遅くまで盛り上がりました。

次回の総会・懇親会は改定会則のとおり、12月5日（土）に開催の予定です。

朝日 一（昭41卒）



みつもりちあき

三森千愛さん（平9卒）が 芸術館公演に出演

本紙第85号で紹介した本校出身のミュージカル俳優・三森千愛さんが、2015年8月2日の水戸芸術館ACM劇場公演「未来へつなぐ記憶」に出演します。この公演は、終戦70周年・核兵器廃絶平和都市宣言30周年記念事業。一流のパフォーマンズをお楽しみください。

【公演】 未来へつなぐ記憶

【日程】 2015年8月2日（日）

16：30開演

※詳しくは知道会ホームページ
<http://www.chidokai.jp/>をご覧ください。

新刊紹介

7つの経済理論についての ナイーブなアプローチ

横倉弘行 著
窓社刊
定価2,800円＋税



著者が中央大学商学部の紀要『商学論叢』に掲載した「研究ノート」などをまとめた一冊。

「ルイ・バシュリエ『投資の理論』の一考察」「社会主義経済におけるリミットサイクルとカオス」などを収載する。研究対象とした7つの経済理論について、詳細な数学分析をベースに紹介や考察、追跡を行う。量子力学など応用可能な他分野への探究心がナイーブなアプローチの原動力となっている。

前島平と七人組 常陸太田英傑列伝

先崎 千尋著
茨城新聞社刊
1,620円
(県内書店で購入できます)



高台に聳える雄大な地形が鯨に見える常陸太田。旧水戸藩時代、郷町として栄えたこの地は明治以降多くの英傑を送り出した。茨城の電気王・前島平、順天堂病院の礎を築いた佐藤進、函館の商業王・梅津福次郎、雪印乳業の創業者・黒澤西蔵等。日本資本主義黎明期がいかにかに誕生していったか、常陸太田の偉大な鯨たちを克明に描く。

親睦委員会

今年度の親睦委員会年間行事について

皆様、新しく知道会親睦委員会の会長を拝命いたしました星野幸子です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

さて、親睦委員会では例年通り2つの大きな行事を開催いたします。

まず、6月27日開催予定の知道会ゴルフは、那珂市にあります静ヒルズで開催いたします。土曜日となりますので、多くの会員のご参加をお待ち申し上げます。

また、9月下旬から10月にかけてミニ歩く会を開催いたします。今年は水戸市内を予定しております。秋の爽やかな日差しのもと、親睦と健康を兼ねて、ぜひ、ご参加をお願いいたします。

知道会親睦委員会 委員長 星野幸子

財務委員会

「ちょっとだけ、母校支援を!!」

財務委員会では、銀行等預金口座振替による年会費納入を推進しています。皆さまの会費は、「母校発展の助成」事業として、各種大会参加への援助や歩く会支援、生徒海外派遣の助成など、母校の発展と将来ある在校生への支援に繋がっています。

母校の発展は、すなわち私たち同窓生にとっても誇りとなるものです。未来に繋がる母校支援と同窓生の親睦をさらに深めるために、是非とも皆様のご協力をお願いします。

「年間2,000円でできる母校支援」を振込み負担のない口座振替でよろしくお願ひいたします。

総務委員会

1頁の新会長挨拶と2頁の代議員会報告の通り、11月の代議員会において鬼澤新会長が選出され、これにあわせて役員及び各委員会もこのたび陣容を新たにいたしました。各委員会には平成卒の委員も多数加わり、新たな感覚を取り入れた運営も今後期待出来るところです。

これまで知道会を支えて下さった先輩方の思いを受け継ぎつつ、母校の140周年、150周年を見据えてより活発な委員会活動に取り組んで参ります。引き続き会員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

(右記役員一覧表)

第64・65期 知道会幹事会及び委員会名簿

顧問	後藤卓三(昭19)、西野虎之介(昭23)、 角田芳夫(昭28)、鈴木一弘(昭52)
会長	鬼澤邦夫(昭38)
副会長	稲葉節生(昭38)、朝日一(昭41)、助川裕(昭42)
幹事長	栗原英則(昭48)
副幹事長	飯塚博之(昭56)、深谷新太郎(昭57)
総務委員会	*◎河野秀幸(昭63)、*◎石川格(昭50)、*◎倉田章吾(平3)、三上靖彦(昭52)、菊地功(昭57)、黒木雅宏(昭58)、橋本慎(昭58)、竹村広治(平3)、住谷則昭(平4)、鹿志村茂(平5)、坪井正幸(平5)、川崎篤之(平8)、星野博史(平11)、細田明俊(平14)
財務委員会	*◎根本祐一(昭46)、*◎勝山文久(昭45)、*◎関田國作(昭53)、大金誠(昭42)、後藤克己(昭43)、皆川真規夫(昭45)、伊藤道子(昭53)、加藤一郎(昭53)、太田聖史(昭58)、仲田留美(昭63)、齊藤修(平6)、稲野知穂(平19)
名簿委員会	*◎水口二良(昭47)、*◎後藤直樹(昭54)、*◎西野明美(昭59)、須能浩信(昭60)、野村貴広(平7)、岡村太郎(平7)、岡村有希子(平7)、渡邊優美(平15)
広報委員会	*◎川又敏郎(昭49)、*◎宮内寿子(昭47)、*◎和田宏(昭51)、内藤学(昭53)、後藤岳志(昭54)、平井夏樹(昭56)、森田真理子(昭56)、平山桂己(昭59)、磯美保(昭60)、鈴木圭輔(平5)、小林典子(平6)、内田智子(平8)、海老澤佳之(平9)、和知忠道(平11)、菊地克仁(平13)
親睦委員会	*◎星野幸子(昭57)、*◎君和田利智(昭57)、*◎磯崎雄司(平1)、橋川栄作(昭56)、黒澤広忠(昭58)、高林憲一(昭58)、小澤一利(昭58)、高橋淳子(昭58)、原口哲也(昭60)、藤老根武(平2)、濱野正之(平4)、加藤尚弘(平6)、海老奈津子(平13)、三村玲緒(平19)
幹事	*横山仁一(昭47)、*檜山隆雄(昭49)、*今関裕夫(S50)、*吉原美彦(昭57)、*土井宣弘(平3)
監事	坂本和重(昭48)、篠原勉(昭48)
事務局	古平恒夫(昭37)、徳永美佳(昭59)

()卒業年次、*幹事、◎委員長、○副委員長

物故者 (H26.9 ~ H27.3 迄にご連絡を頂いた方を掲載しました。)

旧職員	青木 行雄	昭22中	小沼亀太郎	昭27高	小野 晴男	昭39高	立原 克彦
昭4中	小川 健	昭23中	安藤 均	昭28高	小澤 宏康	昭39高	神永 誠
昭8中	平輪 憲治	昭23中	武藤 正徳	昭29高	飯島 弘道	昭39高	鈴木 学而
昭11中	植田 善夫	昭23併	亀井 康明	昭30高	穴戸 大	昭39高	田附 雄一
昭13中	奥野 實雄	昭24高	海野 士郎	昭32高	石 邦輔	昭39高	黒澤 和壽
昭13中	鈴木 勲	昭24高	小沼 一雄	昭32高	山田 勇	昭39高	森定貴代雄
昭13中	田代 光雄	昭24高	鈴木 章	昭32高	重松駿一郎	昭39高	飯島 靖
昭14中	立見 武史	昭25高	加部東佑貢	昭33高	坂井 芳信	昭39高	益子(細谷)慶子
昭15中	種村 玄彦	昭25高	鈴木 正氣	昭33高	伊藤 勲	昭39高	青木 重典
昭15中	原田 敬造	昭26高	瀬尾 充完	昭33高	深谷 昇助	昭39高	小野 公之
昭16中	柏 廣	昭26高	栗田 明	昭33高	杉江 博愛	昭39高	東 基旦
昭16中	国松 義輝	昭26高	松浦 和人	昭33高	原口 平	昭40高	堀口 正治
昭16中	三村 勲	昭26高	浅野 武昭	昭33高	佐藤 昌弘	昭41高	古田土 彰
昭17中	三村 茂	昭26高	檜山 哲男	昭33高	齊藤 直之	昭41高	山田一比古
昭20中⑤	小野 高宗	昭26高	亀井 康明	昭34高	正村 雅彦	昭43高	長山 英雄
昭20中⑤	砂押 昭三	昭26高	沼田善三郎	昭34高	戸崎 康雄	昭43高	櫻村 輝男
昭20中⑤	立原 彦昭	昭27高	豊崎 昭	昭34高	今川 清	昭43高	杉田 誠
昭20中⑤	神浜 孜郎	昭27高	南畝 宏	昭34高	竹盛 建而	昭43通	岩間 文夫
昭20中⑤	栗田 学	昭27高	皆川 宜昭	昭34高	小森 博	昭47高	片倉 郁夫
昭20中④	細谷(深谷)弘一	昭27高	大竹 稔國	昭34高	中井川紀男	昭50高	山縣 邦彦
昭20中④	横須賀功治	昭27高	小林 博	昭35高	馬場 克秋	昭59高	森 俊樹
昭22中	大貫 典昭	昭27高	鈴木 良朝	昭38高	斎藤 勝彦	昭61高	雨ヶ谷早苗

【事務局から】

事務局の開設時間が限られている(月、水、金)ため、多くの会員にご不便をお掛けしています。知道会に対する時間外お問い合わせは、FAX(029-226-4157)又はE-Mail(chidokai_mito@chidokai.jp)でご連絡下さい。

学校基本データ

学校創立	1878年(明治11年)10月2日
平成27年創立	137年
同窓会員数	37,122人(平成27年5月現在)
住所判明者	21,246人
在籍生徒数	973人(男子561人、女子412人) (平成27年5月現在)